

接続語 レベル5

日 前
月 名

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

少数意見は尊重するべきである。(1) **オ**、人は多数派の意見に対して、ほとんど反対意見を言わない。(2) **ウ** 反対をすれば自分が嫌われることを知っているからだ。そして、多数派の意見ばかりが尊重され、人々がそれに反対をしなければ、ますます社会において多数派の意見ばかりが増えていくことになる。(3) **エ** 多数派の連鎖的増大である。一方で、少数派の意見はそれに伴って小さくなっていくことになる。(4) **ア** 新聞やテレビのニュースを見る際には、隠れた少数派の存在を意識することを、(5) **イ** 忘れてはならないのである。

ア だから イ 決して ウ なぜなら エ いわば オ だが

- (1) オ (逆の内容) (2) ウ (理由の説明) (3) エ (言い換える)
(4) ア (原因から結果) (5) イ (くない、とセットの表現)

■ 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

私たちがとりまく環境が変化すると、言葉も変化します。(6) **ク**、皆さんは「むかつく」という言葉の意味を知っていますか。この言葉はもともと胃など身体の不快感を示す言葉でした。(7) **ク**、現在では「怒り」など精神的不快感を表現するために使われることが多くなりました。この用法の変化は、一九八〇年代に起こったと言われます。受験戦争や管理教育によるストレスを全身で感じていた当時の小中学生が、精神的不快感をこのような言葉で言い表すようになったのです。(8) **ケ**、その用法が広く一般的にも使われるようになりました。このように環境の変化によって、言葉の指し示す意味が拡大する事例もあれば、(9) **キ** 縮小する場合があります。また時には全く新しい言葉が作られることもあります。(10) **カ**、環境変化と言言葉の変化に強い関係があることは間違ありません。



カ ともかく

キ

逆さかに

ク でも

ケ そして

コ たとえば

(6) コ (例をあげる)

(7) ク (違う意味に変わった)

(8) ケ (続いて起こったこと)

(9) キ (反対の内容)

(10) カ (あれこれある内容をまとめる)